

横浜市から

子宮頸がん検診(HPV検査)のご案内

あなたは前回のHPV検査が**陽性(+)**でした。

前回の検査から1年が経過します。
かならず**HPV検査**を受けてください。

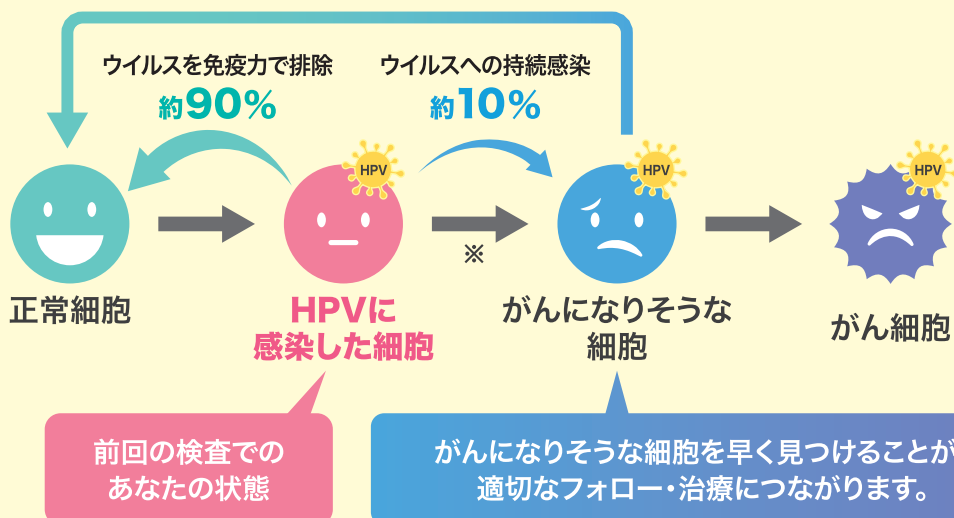
1年後の検査はとても大切です!



- 子宮頸がんの多くは**HPV**(ヒトパピローマウイルス)が原因。
- HPVに感染しても、必ず子宮頸がんにかかるわけではありません。多くの方は、免疫力で自然にウイルスを排除しますが、**HPV感染が持続**すると一部が子宮頸がんに行進していきます。

HPV感染と子宮頸がんの発生の流れ

HPV検査で今のあなたの状態が分かります



※HPVの感染が認められた場合には、そのまま、異常な細胞がないかを調べる「細胞診検査」へ進みます(細胞診検査での再度の受診は不要です)。

1年後のHPV検査ってどんな検査？

検査方法

内診台で医師が細胞を採取します(前回と同じ検査)。

※月経(生理)中は避けて検査を受けてください。



費用

横浜市の補助が入って

2,000円

次の方は費用が免除になります。

必要な手続きについては受診前にお問い合わせください。

- 令和6年度市民税県民税が非課税世帯・均等割のみ課税世帯の方
- 生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付制度が適用される方

受診方法

STEP 1

受診する医療機関を選ぶ

※医療機関によっては予約が必要な場合があります。ウェブページ等をご確認ください。



横浜市
子宮頸がん検診
実施医療機関

STEP 2

検診受診時に

以下の**2つ**を持って医療機関へ行く

- ① 同封のご案内(受診券シール)
- ② 本人確認書類(マイナ保険証等)



①②を忘れると受診できません！

この封筒の中に**①**が入っています。

子宮頸部の疾患で治療や経過観察を行っている方は、対象外となることがあります。
子宮頸部に関連した病気で通院または治療中の場合は、右の電子申請フォームにお申し出いただければ、
次年度以降このご案内を止めさせていただきます。(次のご案内は節目のご年齢になります。)



今回の検査を受けた後の流れは？

HPV陽性(+)

細胞診(異常なし)

1年後に再検査を受けてください。

細胞診(異常あり)

**速やかに詳しい検査
(精密検査)**を受けてください。

HPV陰性(-)

→ 次の検診は節目年齢(35歳、40歳、45歳…60歳)です。
現在の年齢によって次回受診時期が異なるため、
横浜市がん検診WEBをご確認ください。



**心配な症状がある時は、
次の検診を待たず婦人科を受診しましょう**